



# 天領医療連携だより



## 本院の目標

- 一、本院の五つの理念の確実な実践
- 二、患者様の尊厳の厳守
- 三、地域と一体になった医療システムの確立

## 医療理念

- 一、患者中心の医療
- 二、医療の質の向上
- 三、地域社会にあった手づくりの医療
- 四、安心と信頼を持たれる病院づくり
- 五、経営の安定と職員満足度の向上

2018年5月発行

vol.13



## ●呼吸器内科の取り組み

呼吸器内科は呼吸器系の感染症（肺炎）、悪性腫瘍（肺癌）、アレルギー疾患（喘息）、閉塞性疾患（COPD：タバコ肺）、拘束性疾患（肺線維症）など多くの疾患を対象としており、総合内科や他の臓器と関連することが多い特徴があります。よって、かかりつけ医療機関や院内の各専門科との連携を大切にしています。

肺癌に対しては、正確な診断のために気管支内視鏡検査を積極的に行っています。肺癌で最も有効な治療は手術ですが、当院呼吸器外科部長丸山医師と連携して診療にあたり良い治療成績をあげています。肺癌の薬物治療は、最近進歩の目覚ましい分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬も使用し、以前に比べて高い効果を得られる機会が増えました。これらの薬剤が使用できない症例でも抗癌剤による治療、放射線治療を実施しています。生活の質を保てるように、外来での抗癌剤治療（外来化学療法）を提供し、また、緩和治療も実施しています。

肺炎は高齢者に多く難治性のこともありますが、適切な抗菌療法を行い、元の生活に戻られることを目標としています。

気管支喘息は、吸入ステロイドを中心とした外来治療により発作の頻度を減らすことができます。診断のためには肺機能検査、呼気一酸化窒素濃度（FeNO）、喀痰好酸球検査を活用し、正確な治療の評価を行っています。

COPD（タバコ肺：慢性閉塞性肺疾患）は、喫煙、気管支拡張薬の吸入によって、息切れ症状を少しでも抑えるよう治療致します。

間質性肺炎は、分類や進行様式に応じて薬物治療を選択しており、抗線維化薬の適応があれば使用可能です。

呼吸不全には様々な原因がありますが、当院では急性期の人工呼吸管理（侵襲的・非侵襲的）から慢性期の在宅酸素療法まで行うことができます。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）は、外来でのスクリーニングあるいは一泊入院で評価を行い、重症度を満たせば持続的陽圧呼吸（CPAP）の管理を行ない快適な日常生活が提供できます。

当院では行うことのできないPET検査、放射線治療、結核の入院治療、高度な集中治療、その他特殊な検査・治療が必要な場合は、大学病院等、適切な施設と連携して早急で最適な診療に努めています。

咳、痰、呼吸困難、胸部レントゲン写真やCTの異常などを有する患者様がいらっしゃいましたら、是非ご相談ください。

（文責：呼吸器内科部長 廣佐古 進）



呼吸器内科・呼吸器外科チーム

## ● 新任医師からのメッセージ



### 消化器外科部長：大川尚臣（おおかわ たかおみ）

H30年4月2日より外科に赴任いたしました大川尚臣です。香川県高松市の出身です。医局は岡山大学消化器腫瘍外科に属しております。天領病院には2年半前より非常勤医として勤務しておりましたが、この度常勤医として勤務することとなりました。

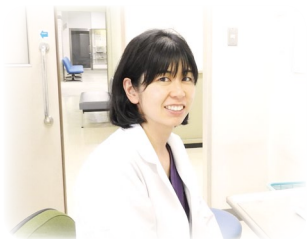
専門は一般外科・消化器外科で、消化器疾患全般を中心に内視鏡検査・治療及び外科手術に従事しております。近年腹部を大きく切らずに、小さな穴を開けて行う鏡視下手術が広く普及されています。胆石症、鼠径ヘルニア（脱腸）、虫垂炎、腸疾患、胃癌、大腸癌等の疾患では鏡視下手術を中心とした手術を積極的に行い、患者様の負担の軽減と早期の社会復帰を目指します。よろしくお願い致します。

### 循環器内科部長：小野敬道（おの たかみち）

2018年4月より循環器内科へ赴任いたしました小野敬道です。熊本市出身で大学卒業後熊本大学医学部循環器内科へ籍をおき、現在16年目となります。

専門としては狭心症や心筋梗塞などのカテーテル治療やペースメーカー植え込み術、また心不全に対する診療などを主に行っておりましたが、肺梗塞に対する下大静脈フィルター留置や下肢動脈の経皮的動脈形成術も施行しています。

また当院の特徴としては、熊本大学心臓血管外科や循環器内科とも密に連携しており、高度なカテーテル治療や外科手術が必要な場合には密な診療連携にてベストな医療が提供できます。循環器疾患でお困りの方の力になれると思います。よろしくお願い致します。



### 呼吸器内科医長：城臺安見子（じょうだい やすみこ）

平成30年5月1日より呼吸器内科に赴任いたしました城臺安見子です。専門は呼吸器内科全般ですが、特に緩和領域に力を入れています。緩和医療と聞くとなんとなくがんによる痛みに対する治療などを想像しがちですが、そういった身体的な症状だけでなく、精神的な症状や社会的な問題に対しても総合的に改善していくことが緩和医療です。“患者さんに寄り添う医療”を心がけ診療を行って参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



### 呼吸器内科医員：莊田恭朗（そうだ やすあき）

2018年4月より呼吸器内科へ赴任致しました莊田恭朗です。熊本大学卒業後、東京の立川相互病院にて研修後、熊本大学呼吸器内科集中治療部を経て本院にて頑張っています。医師になって5年目でまだまだ若輩者ではありますが、地域の皆様がいつまでも健康に過ごすことができますように精一杯診療して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

### 整形外科医員：坂本 圭（さかもと けい）

2018年4月より整形外科として赴任しました坂本圭といいます。熊本市出身で福岡大学を卒業後、熊本大学、熊本医療センター、熊本再春荘病院で研修と整形外科の修練を行いました。少しでも患者様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。本院の今年の目標「患者中心のチーム医療」のために頑張りますのでよろしくお願い致します。



### 整形外科医員：河上純輝（かわかみ じゅんき）

2018年4月より整形外科へ赴任致しました河上純輝です。外傷を中心に整形外科全般で診療を致しております。些細な症状や日常の生活背景なども考慮し、患者様とも相談しながら最適な治療が行えるように心がけています。少しでも地域の皆様の生活の質の向上のためにお力添えができれば幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。



## ● 新人研修を実施しました！



新人研修から始まるこの1年は責任ある医療人としての土台を築く重要な時期です。基本的なスキルはもちろん、仕事に取り組む姿勢や、コミュニケーション能力を身に付けていくことが今後の大きな成長に繋がります。当院も朗らかな雰囲気の中、新人研修プログラムを作成し、新人育成に取り組んでいます。

ステップ  
1



● 入社後の、1泊2日で英彦山での集合研修が行われました。自然豊かな環境の中、座学やレクレーションを行い、同期との繋がりを深めると共に、自己の課題を見つけることができました。

ステップ  
2



● 看護部では5日間の集合教育が行われました。配置部署での実践が生かせるような演習を取り入れ、安全対策や危機管理、さまざまな基礎知識について学びました。

ステップ  
3



● 配属された部署では研修とは異なる緊張と戸惑いでいっぱいです。プリセプターを中心に先輩達からのやさしいオリエンテーションで明るい気持ちになりました。

## ● 健康教室を開催します！

天領病院では4回/年、リハビリスタッフを中心に、転倒や腰痛予防など、さまざまな日常生活の不安にスポットをあて、健康教室を開催しています。筋力アップや体を動かす時の注意点など実技を交えながら、実際の生活に即した指導を行っています。興味深いテーマがありましたら是非ご参加ください。お待ちしております。

### 【開催日程】

6月12日(火) 嚥下障害について  
9月13日(木) 転倒予防について  
12月13日(木) 肩こりについて  
3月14日(木) 腰痛について

【お問い合わせ】 地域医療連携室



## ● 第15回学術集会開催！次回からよりオープンにします。

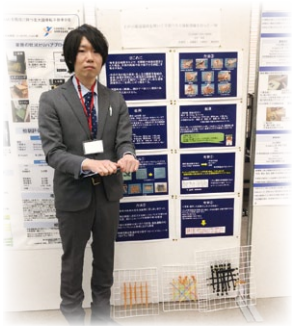
3月3日に第15回大牟田天領病院学術集会が開催されました。本年から、地域包括ケアに貢献するために院内学術集会をオープンにし、連携施設とともに学術情報を交換し、地域とともに学ぶことにしました。発表演題は16題で、その目的、方法、結果、考察が臨床の現場に役立つもので高く評価できました。今回の特別講演は、熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学教授 佐々木 裕先生に「肝疾患診療の最近の話題」についてお話をいただきました。その講演では、B型肝炎ウイルスの再活性化（キャリアあるいは既往感染者が免疫抑制や化学療法によって誘発される肝炎）の対策としてウイルスDNAのモニタリングの重要性が強調され、C型肝炎は、直接作用型抗ウイルス薬で治療が得られる時代になったことが示されました。B型肝炎ワクチン接種がより広くなされれば、今後、ウイルス性肝炎、肝硬変、肝臓は大幅に減少し、メタボリックシンドロームに対応することで非アルコール性脂肪肝炎も減少することが示されました。特別講演は、肝疾患の最新治療情報を提供していただくとともに、肝疾患の歴史的背景、ウイルス学、予防と行政への取り組みまで広範囲にわたり、私たちの診療に大きな寄与をする講演でした。次回から演題も公募して地域医療を進化させたく考えています。



(右)  
熊本大学大学院  
生命科学研究部 消化器内科学  
教授 佐々木 裕 先生

## ● 学会発表！

### 「自作の簡易器具を用いて手指の自主運動訓練を行った一例」 作業療法士 宮村 和寿

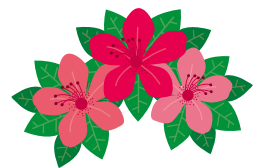


橈骨遠位端骨折などで、手関節や前腕を固定された場合、手指の拘縮や筋力低下を引き起こす場合が多々見られますが、今回手指の筋力維持・向上及び関節可動域の維持・改善を目的として、簡易的な訓練器具を製作し一症例に対し自主運動訓練用として使用しました。この訓練器具（金属ゴムネット）はゴムの弾性抵抗を利用し筋力強化やROMの維持、改善が期待できるもので、安価で自作できます。術後早期に退院となることが多い橈骨遠位端骨折等に対する手指のリハビリテーションの一手段として有効であると考え、今回良好な結果が得られたため福岡県作業療法学会にて発表しました。

## 編集 後記

6人の新任の先生を迎え、病院はさらに活気づいてきました。また、新人の職員も研修を終え、それぞれの部署で頑張っています。その姿はとても初々しく応援したくなりますね。

先日、藤とつつじの花を見に行きました。それらの花は一面満開で美しく、近づいて見ますと一つ一つが協力し合って、さらに美しく見せてくれていました。花の見ごろの季節となりましたが、私たちが職場でたくさんの花を咲かせたいですね。（地域医療連携室：古田 由実）



### ● 交通アクセス

- JR 鹿児島本線大牟田駅下車・・・徒歩 20 分
- 西鉄天神大牟田線大牟田駅下車・・・徒歩 20 分
- 九州自動車道 南関 IC より自動車・・・25 分
- 西鉄バス大牟田駅前バス停乗車  
天領駅前下車（行先番号 2 番）・・・下車徒歩 3 分  
天領町 1 丁目下車（行先番号 4 番）・・・下車徒歩 0 分

### ● 診療 受付時間

月曜～金曜日 / 8:30～11:30（診療開始 8:45～）  
午後の診療時間についてはお問い合わせ下さい  
土曜日 / 8:30～11:30（診療開始 8:45～）

### ● 休診日

日曜日、祝祭日、年末年始（12 / 30～1 / 3）

### ● 面会時間

平日・土日祝祭日 11時～20時まで



当院に対してご希望やご意見がございましたら職員にお気軽にお申し付けください。また、ご意見箱も是非ご利用ください。

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会  
社会保険 大牟田天領病院

発行：広報委員会 地域医療連携室

〒 836-8566 福岡県大牟田市天領町 1 丁目 100 番地

TEL 0944-54-8482 FAX 0944-52-2351

電子メール：somu@omutatenryo-hp.jp ホームページ：http://omutatenryo-hp.jp/